

2015（平成27）年度

事業報告書

自 2015（平成27）年4月 1日より

至 2016（平成28）年3月31日まで

学校法人 九州ルーテル学院

目次

1. 学校法人の概要	1 ページ
1.1 建学の精神	1 ページ
1.2 学院の沿革	1 ページ
1.3 設置する学校・学部・学科等	2 ページ
1.4 学生・生徒・園児の状況	3 ページ
1.5 役員の概要	4 ページ
1.6 評議員の概要	5 ページ
1.7 教職員の概要	6 ページ
1.8 組織図	7 ページ
2. 事業の概要	
2.1 大学・大学院	8 ページ
2.1.1 学生確保 2015 年 入試結果	
2.1.2 就職	
2.1.3 Inclusive Education 障害学生サポート	
2.1.4 新規事業開始	
2.1.5 大学院	
2.1.6 ジャニス	
2.2 中学・高校	9 ページ
2.2.1 教育環境の整備	
2.2.2 教学内容<中学校>	
2.2.3 教学内容<高校>	
2.2.4 教学内容<中学・高校共通>	
2.2.5 企画事業	
2.3 こども園	13 ページ
2.3.1 園児の動向と将来計画	
2.3.2 職員の資質向上とキリスト教保育の充実	
2.3.3 特別支援教育の充実	
2.3.4 学校評価の充実	
2.4 法人及び事務部門	14 ページ
2.4.1 事務部門全体	
2.4.1.1 強い職員集団づくり	
2.4.2 法人運営	
a) 広報	
b) 人事労務	
c) 経理	
d) 施設・環境整備	
e) 阿蘇山荘	

2.5	宗教教育	15 ページ
2.5.1	学院の宗教活動	
2.5.2	大学における宗教活動	
2.5.3	中学・高校における宗教活動	
2.5.4	こども園における宗教活動	
2.6	入試結果・入園入学状況	16 ページ
2.7	卒業生数及び進学・就職状況	18 ページ
2.7.1	2015年度卒業・卒園数	
2.7.2	2015年度卒業生の進学・就職の状況	
2.7.2.1	中学校	
2.7.2.2	高等学校	
2.7.2.3	大学	
2.8	施設等の状況	20 ページ
2.9	年間行事	22 ページ
3.	財務の概要	
3.1	決算の概要	24 ページ
3.1.1	貸借対照表の概要	24 ページ
3.1.2	資金収支計算書の概要	25 ページ
3.1.3	事業活動収支計算書の概要	26 ページ
3.1.4	収支の機関別内訳	28 ページ
3.1.5	収支の大科目別内訳	29 ページ
3.1.6	主な財務比率	31 ページ
3.2	その他	34 ページ
3.2.1	有価証券の状況	
3.2.2	借入金の状況	
3.2.3	学校債の状況	
3.2.4	その他	
3.2.4.1	寄付金の状況	
3.2.4.2	収益事業の状況	
3.2.4.3	関連当事者との取引	
付録	学校会計について	35 ページ

1. 学校法人の概要

1.1 建学の精神

学院標語（学訓） 感恩奉仕

学院聖句 わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。
(ヨハネによる福音書 10 章 10 節 b)



本学院の校章は、中心部は図案化されたバラの花が置かれ、バラを囲む三角で縁取りされている。三角の型は、キリスト教会には馴染み深いシンボル・三位一体の神に由来するものだが、学院では学校の間育成・教育の課題である「知育・徳育・体育」を表すものとして扱ってきた。

中心部におかれたバラ模様はルター派教会のシンボルである。

「純粹」を表す白いバラ模様の中心には、ルター紋章では赤いハートに十字架を刻み、キリストの十字架の心が記されているが、学院紋章では「赤い丸」に単純化されている。それは単純化と云うよりは「キリストの十字架の血」に置きかえられたものである。その「一点」こそが、学院の原点であり、それは「靈育」という原点である。

「靈育」を原点とし、そこに支えられて「知育・徳育・体育」による人間形成が営まれる学府を「校章」は謳っている。そこから生まれる人間が「神の恩寵（恵）」に感謝し、神と人に仕える「感恩奉仕」に生きることに目標を置くところに学院の使命と伝統がある。

1.2 学院の沿革

1908 年	米国ペンシルベニア州のインマヌエル・ルーテル教会で、「日本に女子学校を作るために」5ドルが献金された。
1921 年 9 月	北米一致ルーテル教会婦人伝道局総会で、日本に女子学校建設を決議。
1922 年	日本のルーテル教会第 3 回総会で、女子学校設立を決議。
1923 年 1 月	米国婦人伝道局が 17 万 5 千ドルを目標に募金運動開始。2 年間で延べ 30 万人から 25 万 6182ドルを募金。特に、オハイオ州のジェームズ夫妻は、日本への宣教師を夢みて 8 歳で夭折した娘ジャニスのために特別多額を寄付。新しくできる学校は、「Janice James School」と呼ばれることになった。
1925 年 12 月	私立学校認可申請を熊本県知事に提出、翌年 2 月認可。
1926 年 4 月	九州女学院開校。初代院長マーサ・B・エカード
1928 年 10 月 3 日	専門学校入学者検定規定による文部大臣指定(この日が創立記念日)
1931 年 2 月	修業年限 5 箇年指定(高等女学校高等科入学資格)
1931 年 3 月	第 1 回卒業式
1941 年 11 月	九州女学院財団法人設立 校名は九州女学院高等女学校となる

1943年4月	四年制高等女学校となり校名を清水高等女学校と変更
1946年3月	同窓会「のいばら会」発足
1946年4月	五年制高等女学校へ復帰 校名は九州女学院高等女学校となる
1947年4月	九州女学院中学校(新制)を設置
1948年4月	九州女学院高等学校(新制)及び九州女学院幼稚園を設置
1975年1月	短期大学設立認可
1975年4月	九州女学院短期大学[英語学科、児童教育学科]開学
1996年12月	大学設立認可
1997年4月	九州ルーテル学院大学[人文学部人文学科]開学
1998年3月	短期大学閉学
2001年3月	野々島グラウンド落成
2001年4月	中学・高等学校を男女共学とし、ルーテル学院中学・高等学校と校名を変更。 法人名を、九州女学院から九州ルーテル学院に改名
2001年7月	中学高校男子寮竣工
2002年10月	大学4号館竣工
2002年7月	菊南グラウンド落成
2004年4月	大学に[心理臨床学科]開設
2005年3月	学生自治会・部室棟(学生ホール)竣工
2006年4月	大学に大学院(修士課程)人文学研究科障害心理学専攻開設
2007年4月	大学人文学部人文学科にキャリア・イングリッシュ専攻とこども専攻を開設
2009年4月	大学が大学基準協会認証評価適合
2010年4月	大学に小学校教諭一種免許状の課程開設
2013年4月	認可外保育施設ルーテル学院幼稚園開設
2015年3月	認可外保育施設ルーテル学院幼稚園廃止
2015年4月	ルーテル学院幼稚園を幼保連携型認定こども園ルーテル学院幼稚園へ移行

1.3 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
九州ルーテル学院大学	1997年4月	人文学部人文学科	
	2004年4月	人文学部心理臨床学科	
九州ルーテル学院大学・大学院	2006年4月	人文学研究科障害心理学専攻	
ルーテル学院高等学校	1948年4月		
ルーテル学院中学校	1947年4月		
認定こども園ルーテル学院幼稚園	1948年4月		

1.4 学生・生徒・園児の状況

①在籍者数

2015年5月1日現在

単位:人

学 校	学 年	学科	定員数	クラス数	園児・生徒・学生数		
					学科別計	合 計	
こども園	0歳児		30			1	
	1歳児					7	
	2歳児					18	
	3歳児		50			44	
	4歳児		50			41	
	5歳児		50			48	
	計		180			159	
中学校	1年		80	2		69	
	2年		80	2		73	
	3年		80	2		53	
	計		240	6		195	
高等学校	1年		320	8		330	
	2年		320	10		379	
	3年		320	9		347	
	計		960	27		1,056	
大 学	1年	人文	保育	30	2	31	178
			児童教育	10	1	13	
			キャリア	35	2	38	
		心理臨床	75	4	96		
	2年	人文	保育	30	2	30	155
			児童教育	10	1	13	
			キャリア	35	2	38	
		心理臨床	75	4	74		
	3年	人文	保育	30	2	33	193
			児童教育	10	1	20	
			キャリア	35	2	42	
		心理臨床	75	4	98		
	4年	人文	保育	30	2	33	200
			児童教育	10	1	24	
キャリア			35	2	54		
心理臨床		75	4	89			
長期履修学生	人文	5	-	0	16		
	心理臨床	5	-	16			
計			600	35	742	742	
科目等履修生、研究生			-	-	10	10	
大学院	1年	障害心理学専攻	5	-	6	12	
	2年	障害心理学専攻	5	-	6		
	計		10		12		
	研究生、科目等履修生			-	-	4	4

1.5 役員の概要

職名又は 担当職務	フリガナ 氏 名	常勤・ 非常勤 の別	就任年月日	備 考
理事長	坂根 信義	非常勤	2002年6月24日	理事長就任 平成27年3月2日
理事	清重 尚弘	常勤	2002年4月1日	院長・学長
理事	林田 博文	常勤	2012年4月1日	中学高校長
理事	尾田 明子	常勤	1998年10月20日	こども園長
理事	山口 初子	非常勤	2007年9月28日	元熊本ライトハウス・のぞみ ホーム施設長
理事	長岡 立一郎	非常勤	1998年10月20日	九州学院理事長
理事	於保 郁子	非常勤	2004年10月1日	元めぐみ幼稚園長
理事	潮谷 愛一	非常勤	2014年5月28日	熊本市社会福祉協議会会 長
理事	古屋 四朗	常勤	2008年4月1日	事務局長
理事	福田 邦子	非常勤	1995年7月10日	のいばら会顧問 愛育会福田病院理事
理事	谷口 美樹	非常勤	2014年10月1日	のいばら会会長
理事	米澤 房朝	非常勤	2001年5月30日	ヨネザワ社長 清水学園理事長
理事	市川 一宏	非常勤	2004年10月1日	ルーテル学院大学教授
理事	石原 靖也	非常勤	2006年4月1日	アジアフロンティア(株) 代表取締役
監事	河崎 隆夫	非常勤	2008年10月1日	元日本福音ルーテル教会 九州教区事務所主事
監事	寺本 行義	非常勤	2008年10月1日	元リデル、ライト両女史記念 館館長

1.6 評議員の概要

氏名	就任年月日	備考
坂根 信義	2002年6月24日	理事長
山口 初子	2007年9月28日	元熊本ライトハウス・のぞみホーム施設長
長岡 立一郎	1998年10月20日	九州学院理事長
於保 郁子	2004年10月1日	元めぐみ幼稚園長
潮谷 愛一	2014年5月28日	熊本市社会福祉協議会会長
清重 尚弘	2002年4月1日	院長・学長
林田 博文	2012年4月1日	中学高校長
尾田 明子	1998年10月20日	こども園長
古屋 四朗	2008年4月1日	事務局長
豊田 憲一郎	2014年10月1日	大学教授
志水 龍星	2000年5月29日	大学事務長
西山 慎一郎	2014年10月1日	中学高校教諭
濱崎 庸一	2014年10月1日	中学高校教諭
和田 成子	2001年1月17日	幼稚園教諭
福田 邦子	1995年7月10日	のいばら会顧問・愛育会福田病院理事
齋藤 禎子	2012年10月1日	元のいばら会会長
谷口 美樹	2014年10月1日	のいばら会会長
平田 晶子	2013年12月11日	結会会長
宮川 由香理	2013年12月11日	結会役員
鬼塚 素子	2015年6月1日	大学保護者
森永 博臣	2015年6月1日	中学高校 PTA 会長
大庭 早苗	2015年6月1日	こども園 PTA 会長
石原 靖也	2006年4月1日	アジアフロンティア(株)代表取締役
米澤 房朝	2001年5月30日	ヨネザワ社長・清水学園理事長
市川 一宏	2004年10月1日	ルーテル学院大学教授
内村 公春	2002年5月29日	慈愛園理事長
春木 進	2004年9月28日	熊本日日新聞編集委員
梅元 昭宏	2004年9月28日	梅元税理士事務所長
俵 恭子	2005年2月1日	

2015年5月26日まで任期

宮本 るみ	2012年5月30日	大学保護者
井 隆博	2013年6月1日	前中高 PTA 会長
岡村 菜津子	2014年5月27日	前幼稚園PTA会長

1.7教職員の概要

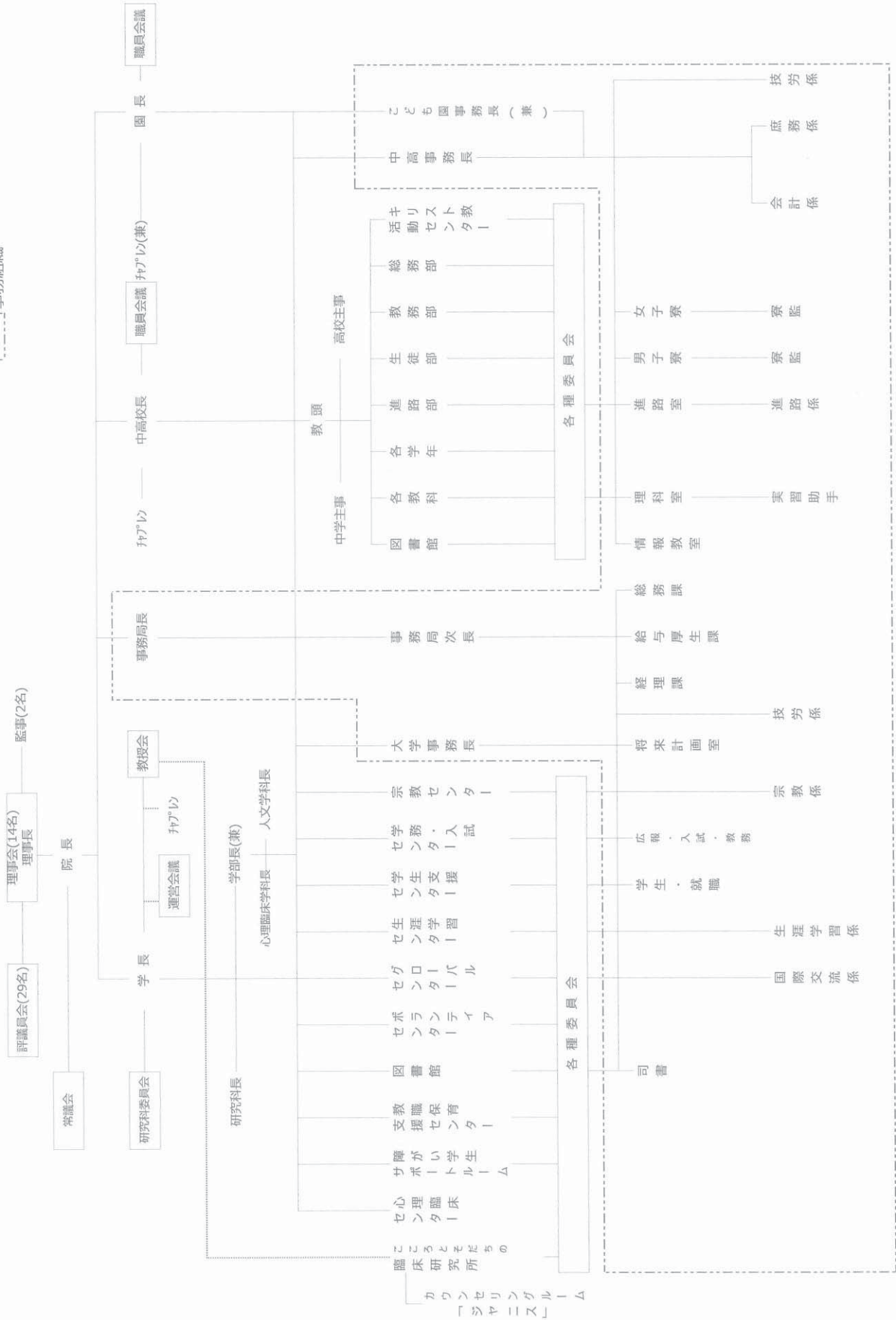
教職員組織<院長 清重 尚弘>

2015(平成27)年5月1日現在

区分	教員区分	人数	職員区分	人数
認定こども園 <園長 尾田 明子>	専任	7	専任	1
	臨採	2	嘱託	1
	非常勤	11	非常勤	9
	計	20	計	11
	教職員合計			31
中学校 <校長 林田 博文>	専任	10	専任	1
	臨採	2	嘱託	3
	非常勤	5	非常勤	5
	計	17	計	9
	教職員合計			26
高等学校 <校長 林田 博文>	専任	48	専任	5
	専任(J3)	3		
	臨採	8	嘱託	4
	非常勤	23	非常勤	5
			寮監	5
	計	82	計	19
教職員合計			101	
大学 <学長 清重 尚弘>	専任	39	専任	18
	兼任	67	嘱託	-
			非常勤	11
	計	106	計	29
教職員合計			135	
大学院 <研究科長 一門 恵子>	兼任講師	5		
	兼担	10		
	計	15		
学院総務部 <事務局長 古屋 四朗>			専任	7
			嘱託	1
			非常勤	2
			計	10

2015年度 学校法人 九州ルーテル学院 組織図 (2015.5.1現在)

----- 事務組織



2. 事業の概要

2.1 大学・大学院

2.1.1 学生確保 2015年入試結果

志願者数計 455 名で、昨年度(549 名)より減少。入学者は 178 名(前年度 155 名)。
県内からの志願者 91%、入学者は 92%と県内からの入学者が 9 割を超える。内容的には
入学者の評定平均値 4.08 と高い。
ルーテル高校からは指定校推薦入試 18 名、一般入試 3 名の計 21 名が入学した。

2.1.2 就職

就職率 99.4%(昨年 98.8%)と健闘。
特筆すべきは、幼保 26 名が 100%。教員 38 名が 100%であった。
PSW (精神保健福祉士) 取得希望者 22 名中合格 16 名で、72.7%であった。
就職指導は小人数ならではの個別指導を徹底し、併せて相談しやすい態勢造りを
構築している成果である。

2.1.3 Inclusive Education 障害学生サポート

柴田美優さんが 4 年次に、又、1 年生の橋本沙貴さん、村里葉さんが 2 年次に進級予定。
障がい者学生サポートルーム職員や多数のボランティア学生の支援がが相まって、順調
に成果を上げている。

2.1.4 新規事業開始

- * 「黒髪乳児保育園」の民営化の受け手として 1 年間の合同保育実施された。
次年度からは大学付属黒髪乳児保育園が開園し新たな保育事業をスタートする。
- * 事務局として「幼稚園教諭免許状の有する者における保育士資格取得特例教科科目」
を開設した。
8 月 17 日～19 日「福祉と養護」(尚絅大学短期大学部)
8 月 20 日～22 日「相談支援」(中九州短期大学)に 27 名の受講者があった。

2.1.5 大学院

学位(修士号)取得者は 4 名
(県立高校教員・福祉施設副園長・市役所 嘱託・学部新卒者)。
10 周年を迎えて、2016 年 2 月 20 日に記念式典並びに祝賀会を開催した。
併せて 10 周年記念誌を発刊した。
なお、現在 6 名に加え、2016 年度入学予定者 6 名を確保でき、(1 学年定員 5 名)ほぼ
安定した運営が出来ている。

2.1.6 ジャニス

2014 年 7 月発足時のクライアントは 10 件(月)程度出であったが、2015 年 5 月から
25 件程度に増加している。
相談内容は多い順に、①人間関係、②子・不登校、③自分の性格④トラウマ である。
地区別では熊本市が 65%で、他は県内各地から相談に来ている。

2.2 中学・高校

2.2.1 教育環境の整備

- 「駐輪場」を新築。教育環境の改善と充実を図れた。

2.2.2 教学内容<中学校>

- 自立した中学生の育成　～行事の見直しと具体的な取り組み～

- ◆「体験学習」を中学3学年全体で実施　9月28日（月）～30日（水）の3日間
 - 1年生：ルーテル阿蘇山荘において「野外活動体験」。ハイキング・箸づくりなどプログラム内容の定着により充実してきた。
また、九州ルーテル学院大の学生サポーターの参加により、指導内容が充実した。大学生が良き模範となり、学びと良き交流を持つことができた。
 - 2年生：「職場体験」を計画し実施できた。準備段階での困難さは多くあり、体験先と移動の安全確保のため、体験先と体験方法を改善して実施した。「つまずきからの学び」を経験させたいと考えている。体験学習後の子どもたちの成長に期待したい。
 - 3年生：慈愛園熊本ライトハウス（ルーテル社会福祉法人 慈愛園）で「福祉・ボランティア体験」を体験した。今後も施設の協力を得て、生徒たちの大きな成長のきっかけとしていきたい。“ひとの心に触れ、自分の心を伸ばす”初日は生徒による事前学習。2日目は校内で熊本ライトハウスの先生方からの講義。3日目は福祉・ボランティア体験学習。PTA 活動（タオル・シーツを集めて雑巾として使用）とのつながりも強まった。
- ◆学級づくり・集団づくり・仲間づくり
 - 日々の礼拝や終礼、ホームルーム活動・行事などを通して学級づくりに取り組むことができた。個人の成長と共に、集団の中で個人・個性を認め合う仲間づくりの取り組み。生徒会活動でも、いきいきとした生徒の育成に努めることができた。
- ◆合唱コンクールの開催
 - 今年で5回目、中学の伝統行事になりつつある。合唱・伴奏・指揮ともにすばらしいコンクールになった。特に、数的に不利な状況にある中学3年生が先輩として自分たちの思いを込めて、クラスで団結し合唱する姿には感動を覚えた。今年も、大学チャペルで学院祭に合わせて開催した。多くの保護者の方をお迎えし、良い雰囲気の中で、すばらしいコンクールだった。
この行事の取り組みが、卒業式における卒業生による感動的な合唱へとつながっていることも喜ばしいことである。

- 一人ひとりの学力向上　～確かな学力を身につける～

- ◆日々の確かな取り組み
 - 担任が「能率手帳」と「自学ノート」の点検を行い、生徒が自己管理能力を高め、基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上へとつなげている
- ◆英語教育の充実
 - 中学の英語教育を充実させるとともに、ネイティブイングリッシュティーチャーとの協力も“中学教育の強み”とし、コンテストに積極的に参加し、すばらしい成果

を上げることができた。英検1級・準1級合格者も出た。また、3級以上の合格率も確実に向上している。さらなる、英語教育の充実を図りたい。

◆授業アシスト制度の推進と改善

➤授業効率の向上と特別支援を要する生徒に対応しながら授業管理をすることができた。今後も改善を図り、より効果的で、生徒が主体的に授業へ取り組めるよう努めたい。

◆「学びタイム」の実施

➤意欲的な生徒または学力不振や学習が遅れている生徒に対して、毎週木曜日と考査前および長期休暇中に「学びタイム」を実施した。学習ルームの活用が充実。また、習熟度別に実施することで成果を上げつつある。

◆進路部との連携による進学指導

➤中学学年会と進路部がより連携を図り、高校への進学指導が充実してきた。まだまだ、成績上位者が公立高校や県内私学を受験する傾向にあるが、ルーテル学院に進学し、学力の向上を目指す生徒が増えつつある。

○中学校におけるキャリア教育 ～将来を見通した進路設計～

◆「J1 野外活動体験、J2 職場体験、J3 福祉・ボランティア体験」の系統化

➤同時期に3学年の体験学習を組み込んでいるため、準備に多忙感はあるが、中学部を中心に“つながり”ある計画を行い、年々充実している。

◆進路カウンセリング、進路ガイダンスなどの充実

➤二者面談および三者面談を通し、一人ひとりの将来の進路設計を考えるきっかけになっている。生徒がさらなる高みを目指すための進路指導を図りたい。

◆「中学3年生 学力検討委員会」の実施

➤中学教育における学力の質的向上を図る上で、指導する側が情報を分析し共有、具体的な取り組みへとつながった。さらに、中学生の学力向上を図り、中学教育の改革へとつなげる。

2.2.3 教学内容<高 校>

○進路保障について

➤志望校への合格という目標達成のために、受験指導と進路指導をしていきたい。これからも生徒たちの希望進路を達成できるように努力する。

○高校におけるキャリア教育 ～将来を見通した進路設計～

◆高校1年生の“社会人講師によるキャリア講演”の取り組み

➤キャリアのある社会人講師をお招きし、進路につながる生の声を聞くことができた。また、研修旅行もキャリア教育につながる研修先を選択してプログラム内容の充実が図れた。

◆進路カウンセリング、進路ガイダンスなどの充実

➤二者面談および三者面談を通し、各学年に応じた具体的な進路相談や進路設計と進路決定につなげることができた。生徒がさらなる高みを目指す進路指導を図りたい。

○朝読書の充実

➤朝読書が、生徒に定着し、読書の必要性和豊かな心と教養につなげてほしい。

2.2.4 教学内容<中学・高校共通>

○キリスト教教育の充実教育

- ◆J 3（ネイティブ英語教師）が高校3年修養会に参加
 - 高校3年修養会にJ 3が参加し、プレゼンテーションとプログラムを企画・運営
- ◆受洗者祝福会　今年は、いなかった。

○「特別支援教育」と生徒への対応を高める取り組み

- ◆SSW（スクールソーシャルワーカー）の活用
 - 私学協会の委託事業。学校で対応が困難な生徒および保護者にSSWを活用することにした。学校側の努力と工夫で対応できないケースが多くなり、専門家のアドバイスを教育現場で生かすことができている。
- ◆サポート委員会での取り組み
 - 発達障がい等への特別支援教育の指導体制が組織的に取り組めるようになった。熊本県私学サポート事業の活用により、より効果的な指導プログラムを組むことができた。また、授業アシスト制度との連携を図った。

○中学および高校各コースにおける定員100%充足

- ◆定員の充足率
 - 中学49名（61%）、高校357名（112%）の入学生を迎えることができた。中学の入学生が減少したか、特に手続き率の低下原因を検証すべきだが、2016年度も教育内容を充実し、ルーテルの教育をアピールして募集につなげる。
- ◆芸術コース入学者と募集活動
 - 28名（音楽13名、美術15名）。指導内容と施設をより充実させ、芸術コースで1クラス編成できるよう努力する。まずは、芸術コース受験生の確保を図る。
 - 「はな阿蘇美コンサート（5月の土曜日）」、「山鹿温泉プラザミニコンサート（8月の土曜日）」を総務部の協力を得て開催し、募集活動に努めた。
- ◆美術展（芸術コース美術）の開催　12月15日～20日　崇城大学ギャラリー
 - 美術展を企画・開催。今回で4回目の取り組み。内容も充実、会場を訪れてくださる方も増えて、芸術（美術）の募集活動にもつながっている。

○グローバル教育・国際交流プログラム

- ◆アメリカ研修旅行（ルーテル　オークグローブ高校　ファージ）
2016年3月19日（土）～3月28日（月）
 - 今年度から3月に、内容の充実を図るため実施した。20名が参加した。
- ◆韓国全州新興高校研修旅行　2016年3月24日（木）～28日（月）
 - 高校1・2年生20名が参加。春休みの時期（新興高校は新学期）に定着し、高校生世代での国際交流ができている。
- ◆中学カナダ（バンクーバー）語学研修旅行　2016年3月13日（日）～19日（土）
 - 中学3年生4名と2名の引率教師（濱崎・ハナ先生）で、少人数であったが、生徒と中学側の強い希望により実施することができた。中学で学んだ英語力を生かす機会として、カナダで語学研修を実施できることに喜びを感じる。この研修旅行での学びが参加生徒たちの高校での学習と将来につなげ、ルーテル学院中学生がグローバル社会で活躍することを夢見たい。

- ◆夏休みを中心に、ボランティア活動を推進している。教会からの要請で、神水教会、室園教会、熊本教会、合志教会でボランティア活動を行った。生徒の成長と共に、教会とのつながりを深めることができた。
- 「自己育成シート【教諭・講師用】」による面談を実施
 - 前期と後期の2回、教諭及び講師の面談を教頭・中学主事・高校主事で実施し、教育の質的向上の手掛かりにし、継続して“ルーテルの教育”を高めていきたい。

2.2.5 企画事業

- 「中学2年沖縄研修旅行」 2015年12月2日（水）～5日（土）
 - 日程を変更し、例年より興南中学校との交流が充実した内容となった。また、見学地の首里城では、興南中学・高校社会科部の生徒による“首里城ガイド”で散策し、知識と交流を深めることができた。
- 「成人をともに祝う会」2016年1月11日（祝日）12時50分 礼拝堂・学院会館
 - のいばら会のご支援とご協力で実現した取り組み。今回で4回目。のいばら会役員の横山さんが担当し準備を進め、生徒会の協力により、盛大に祝う会ができた。年々参加者が増えていることは喜ばしい。皆さまの協力に感謝申し上げたい。
- 「中学平和学習」2016年3月15日（火）5・6・7限目 大学4301講義室
 - 目的：聖書、建学の精神「感恩奉仕」からの学び、戦争という事実から平和の意味を深く理解し、平和を次世代へと継承する担い手になるために行う。
 - 内容：
 - 1) 「あゝひめゆりの塔」のDVD視聴（モノクロ 125分）
 - 2) 中学2年生による沖縄研修旅行での現地学習発表会（30分）
 - 3) レポート作成
 - ・中学2年生：「平和の実現に向けて、今の私にできること」
 - ・中学1年生：「沖縄研修旅行で学びたいこと」

※生徒たちの発表態度と発表内容が良く、すばらしい会として成長している。生徒の主体的な準備や姿勢と教師側の指導が一体となり、と発表内容も非常にすばらしかった。また、中学1年生にとっては12月の「沖縄研修旅行」に向けて、2年生からの体験談を直接聞くことができ、2年生による1年生のための事前学習となった。

今後も、ミッションスクールとして“平和”への学び大切に守り続けていきたい。
- 「感謝の会」旧教職員の集い 2015年6月19日（金） ホテル日航熊本
 - 2回目の旧教職員の方々との交流の時を持つことができた。懐かしい話を聴くことができ、改めて、ルーテル学院で働く誇りと喜びと感謝を持つことができた。

2.3 こども園事業報告

報告：園長

2.3.1 園児の動向と将来計画

2015年度4月に180名定員の幼保連携型の認定こども園として出発した。従来の3歳児以上150名に加え、30名の乳幼児（0歳児3名・1歳児9名・2歳児18名）の受け入れを90周年記念事業で増設した園舎で、こども園として新たな乳幼児保育・教育の場として歩み始めた。 【年間利用園児数】

	3号認定		2号認定		1号認定	
	定員	実数	定員	実数	定員	実数
0歳児	3	6				
1歳児	9	13				
2歳児	18	14				
子育て支援		(5)				
小計	30	33				
3歳児			8	9	42	40
4歳児			8	13	42	31
5歳児			8	4	42	45
合計	30	33	24	26	126	116

※認定こども園の認知度がそれほど高くない事を想定していたが、少しづつ問い合わせや措置される2・3号が増加し年間では、定員を少し欠いた総数175名の園児が在籍したことになる。

2.3.2. 職員の資質向上とキリスト教保育の充実

- ・保育教諭の増員と、乳幼児保育推進の為に保育園での経験者と自園給食実施の為に栄養士・調理員を採用した。新採用も含めキリスト教を土台とする保育に対する学びを研修などで深め、こども園としての教育・保育要領の学びの充実を図った。
- ・教育保育方針の要である『キリスト教保育指針』『保育指針』『教育保育要領』を中心に基に園内研修の実施によりカリキュラムを実施し、今後も継続的な学びを行う。

2.3.3. 特別支援教育の充実

- ・17名の特別支援を必要とする子どもたちに対して、継続して看護師2名を含め、補助教諭の増員で対応した。
- ・特別支援の必要な子どもたちは、それぞれ療育施設や専門機関との連携を密にとりながら卒園生6名は、特別支援学校2名、公立小学校4名が入学した。

2.3.4. 学校評価の充実

- ・保護者・地域の方も含め・第三者評価への（自己・教育(保育)・幼稚園）取り組みと苦情処理委員の設置も継続課題となった。

2.4 法人・事務部門

2.4.1 事務部門全体

事務部門は2011年度から、『魅力ある学校を作る』を共通スローガンとして、業務向上、サービス向上、業務改善、成長の4つの視点で、全体、部署および個人の目標を設定して組織的に取り組んでいる。

事務部門は各自が何らかのサービスを担当しているので、それぞれに具体的なサービス向上の目標を立て、またサービス向上の基盤となる、管理性・業務効率・業務品質の向上に力を入れた。

2.4.1.1 強い職員集団づくり

職員の人材育成には特に力を入れ、建学の精神に基づく高い志と、実質的な知識・能力を持った、自律的職員集団の形成をめざして、体系的に取り組んでいる。全職員と全研修機会のマトリクスを作成して、計画的に研修を受講させている。

特に2015年度は、大学行政管理学会や、大学コンソーシアム熊本SD委員会の同一業務担当者交流会等で、更に成長の機会が広がった。

全職員研修会では、「強い職員集団」をテーマにし、個人と組織の成長についてディスカッションを行い、個人の強みと弱み、今後取り組むべき課題と方法を明確にした。

2.4.2 法人運営

a) 広報

生徒・学生の活躍や学院独自のイベントによりマスコミ媒体に採り上げられた件数は年間82件であった。

b) 人事労務

教職員の身心の健康のために安全衛生委員会を中心として地道な活動を推進している。ストレスチェック制度の導入に向け、外部専門講師を招き研修会を実施、基本的な知識の習得と今後の体制づくりの情報を共有化した。

c) 経理

2015年度からの新会計基準の変更点を抑えながら理解を深め、実務対応を行った。

d) 施設・環境整備

校舎建物の点検は継続して進めている。年度後半は台風被害のため修復工事が大規模になったが全て修復は完了した。

e) 阿蘇山荘

阿蘇山荘は単年度で収支が黒字になった。年に一度の教会との合同清掃、職員による施設の手入れ、ホームページによる宣伝、九州教区による利用者補助、中高による積極的な利用などに取り組んだ。

2.5 宗教教育

2.5.1.学院の宗教活動

キリスト教の建学精神に基づき、宗教活動・教育を行う中、本学は学校と教会が相互に協力できる働きを大変重視している。数年の模索を通して、今はその成果が見え始めており、両方の連携は深まっている。特に、県内各教派の牧師・司祭を招いたキャンパスミッション懇談会で、教会から沢山の有意義な提案をいただいたので詳しく検討の上、段階的に実施している。阿蘇山荘で各教派の力を合わせて行ったユースキャンプは既に定番の行事になった。次年度も学校と教会の連携がますます深まることを願っている。その他、クリスマス関連行事、キリスト教学校同盟及びルーテル諸学校との交流も定着している。また、クリスマスイルミネーション点灯式も本学院の定番行事である。

2.5.2.大学における宗教活動

大学では、教職員の宗教委員会と学生のチャペル委員会によって宗教活動を進めている。2015年度、宗教委員会のメンバーは10名、チャペル委員会のメンバーは92名であった。主な宗教活動は毎日の礼拝である。大学での礼拝は自由参加だが、参加者が多く、日々心静める時を過ごしている。本学の学生はほぼ全員、入学によってキリスト教と出会い、チャペル委員の活躍によって、礼拝に多くの参加がある。2015年度は150回の礼拝が持たれ、年間平均出席率は16.5%という高い水準を維持した。皆勤者が22名、1~2回欠席の精勤者が4名であった。その中、4年間皆勤・精勤者が3名であった。礼拝を好きになった学生が多かったという印象をもった。礼拝では色々な表彰式や、祝福式なども行っている。

他の主な行事としては、阿蘇山荘清掃、サマーキャンプ及びクリスマス礼拝などがある。

2.5.3.中学・高校における宗教活動

創立90周年記念事業で新しいパイプオルガンが礼拝堂に設置された。それまでのオルガンへの感謝と、新しいオルガンが与えられた出来事を通して、毎朝の礼拝とその他特別な礼拝への関心が高まる要素があった。専属オルガニストも加わって、生徒たちの奏楽指導が始まり、キリスト教学校生活の中心である礼拝の時間がより「礼拝らしい」雰囲気整いつつある。その他キリスト教関連行事に関しても、長年続けられた伝統を守りつつ行っている。高校3年修養会や点灯式などで与えられた気付きと課題を、今後さらに良い方向に持っていけるように次年度へ繋ぎつつある。

2.5.4.こども園における宗教活動

園児は、日々の保育の中で各担任が讃美歌・祈りをもって礼拝を習慣化している。食前の祈りや行事ごとの聖話も園長・担任が行っている。黄牧師による礼拝は、毎朝8時から職員礼拝と毎週水曜日にホールでの合同礼拝を行う。保護者対象の聖書学びの会も牧師の指導の下で通年8回程度行っている。こども園になって乳児にもわかるように、視聴覚教材や紙芝居・絵本などの活用が必至になっているが、キリスト教保育を進める中で宗教行事の関わりを特に大切にしている。

2.6 入試結果・入園入学状況(2015年4月入学者)

学校名	種別	志願者数	合格者数		入学(園)者数	
こども園	0歳児				(5/1時点)	1
	1歳児					12
	2歳児					15
	3歳児					42
	4歳児					50
	5歳児					44
	計					
中学 募集定員 80	専願	26	奨学生A	1	奨学生A	1
			奨学生B	3	奨学生B	3
			奨学生C	-	奨学生C	-
			専願生	14	専願生	14
	奨学前期・後期	48	奨学生A	2	奨学生A	-
			奨学生B	9	奨学生B	5
			奨学生C	22	奨学生C	7
			奨学生D	8	奨学生D	1
	一般前期・後期	24	奨学生A	-	奨学生A	-
			奨学生B	5	奨学生B	5
一般生			15	一般生	13	
計	98		79		49	
高校 募集定員 320	専願	154	奨学生S	2	奨学生S	2
			奨学生A	8	奨学生A	8
			奨学生B	14	奨学生B	14
			奨学生C	18	奨学生C	18
			専願生	87	専願生	86
	奨学	497	奨学生S	1	奨学生S	-
			奨学生A	27	奨学生A	4
			奨学生B	82	奨学生B	11
			奨学生C	252	奨学生C	69
			奨学生D	78	奨学生D	30
	一般	225	奨学生S	-	奨学生S	-
			奨学生A	1	奨学生A	-
			奨学生B	3	奨学生B	-
			奨学生C	-	奨学生C	-
			一般生	167	一般生	76
	ルーテル中学	39	奨学生S	3	奨学生S	3
			奨学生A	3	奨学生A	3
奨学生B			4	奨学生B	4	
認定生			29	認定生	29	
計	915		779		357	

学校名	種別	志願者数	合格者数	入学(園)者数
大学 (人文学科) キャリアイングリッシュ 専攻 募集定員 35名	指定校推薦(併設校内数)	24 (8)	24 (8)	24 (8)
	公募推薦	3	3	3
	授業料全額免除推薦	2	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	39	19	12
	一般Ⅱ期	13	2	2
	センター試験利用	19	7	1
	編入学	2	0	0
	長期履修学生(編入学)	0	0	0
	計	102	55	42
大学 (人文学科) こども専攻 保育コース 募集定員 30名	指定校推薦(併設校内数)	12 (4)	12 (4)	12 (4)
	公募推薦	17	7	7
	授業料全額免除推薦	1	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	30	16	10
	一般Ⅱ期	5	2	1
	センター試験利用	9	4	0
	計	74	41	30
大学 (人文学科) こども専攻 児童教育コース 募集定員 10名	指定校推薦(併設校内数)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	公募推薦	6	3	3
	授業料全額免除推薦	1	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	65	17	8
	一般Ⅱ期	20	5	2
	センター試験利用	27	5	0
	計	121	32	15
大学 (心理臨床学科) 募集定員 75名	指定校推薦(併設校内数)	29 (8)	29 (8)	29 (8)
	公募推薦	19	8	8
	授業料全額免除推薦	2	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	2	0	0
	一般Ⅰ期	94	51	32
	一般Ⅱ期	41	9	8
	センター試験利用	29	21	2
	編入学	6	1	1
	長期履修学生(一般入学)	0	0	0
	長期履修学生(編入学)	1	1	1
計	223	120	81	
定員150	大学合計	520	248	168
大学院人文学 研究科 (障害心理学専攻)	一般選抜	1	0	0
	社会人選抜	8	7	6
	計	9	7	6

* 一般Ⅰ期・Ⅱ期、センター試験利用の合格者は第2第3の希望を含む。

* 公募推薦の合格者は、授業料全額免除推薦の志願者(併願)を含む

2.7 卒業生数及び進学・就職状況(2016年3月卒業者)

【2015年5月1日現在】

2.7.1 2015年度卒業・卒園数 (人)

認定こども園ルーテル学院幼稚園	48
ルーテル学院中学校	53
ルーテル学院高等学校	344
九州ルーテル学院大学	163
九州ルーテル学院大学・大学院	4

2.7.2 2015年度卒業生の進学・就職の状況

2.7.2.1 中学校 (人)

ルーテル学院高等学校	39
その他	14
合計	53

2.7.2.2 高等学校

進学(合格者延人数) (人)

大学	国公立	9
	私立	226
	九州ルーテル学院大学	27
準大		0
短期大学	国公立	7
	私立	19
専門学校		77
合計		365

就職 (人)

産業別就職者	公務員	3
	サービス業	13
合計		16

都道府県別就職者	熊本県	13
	県外	3
		16

2.7.2.3 大学

第16期生 一般企業(希望91人 決定者90人) (人)

医療福祉(うち精神保健福祉士合格者16人、合格率72.7%)	28
卸・小売業	15
サービス業	15
金融・保険業	7
教育・学習支援業	7
建設業	4
運輸業	3
飲食店・宿泊業	3
情報通信業	3
不動産業	3
建設業	1
公務員	1
合 計	90

第16期生 保育士・幼稚園教諭・施設保育士(希望者26人、決定者26人)

御船町立保育園	1
上天草市立保育園	1
益城町立幼稚園	1
保育士	16
幼稚園教諭	7
合 計	26

第16期生 教員(希望者38人、決定者38人)

熊本県教員	2
熊本市教員	2
玉名市教員	1
八代市教員	1
天草市教員	1
横浜市教員	5
埼玉県教員	2
臨時教員	24
合 計	38

【その他】

進学	9
家業継承	1
合 計	10

2.8 施設等の状況

2.8.1. 学院が所有する校地・校舎 (2016年5月1日現在) (単位：㎡)

所在地	施設等	校地面積	校舎面積	利用対象
熊本市中央区黒髪 三丁目 269 番地 他 (黒髪キャンパス)	校地	46426.28		大学、中高、幼稚園
	校舎 15 棟(学院会館、 学生自治会棟含む)		21,434.78	同上
	体育館 1 棟		1,925.88	中高
	部室棟 2 棟		395.28	同上
	寮 2 棟		4,157.11	同上
	その他		82.88	守衛室、トイレ棟
熊本市北区鶴羽田 五丁目 952 番地他 (菊南グラウンド)	校地	48,987		大学、中高 (野球部)
	部室、監督室他		342.41	同上
合志市野々島中野 4393 番 56 他 (野々 島グラウンド)	校地	19,099		中高 (サッカー部)
	クラブハウス		228.8	同上
	部室棟他		85.31	同上
阿蘇郡南阿蘇村河 陽 4326 番 4 他 (阿 蘇山荘)	校地	37,059		総務部で管理
	建物 5 棟		719.66	同上
熊本市中央区黒髪 二丁目 827 番	保育園 1 棟	633.11	369.81	保育園
合 計		152,204.39	29,741.92	

2.8.2 2015 年度に実施した工事

1) 創立 90 周年記念事業：

パイプオルガン交換・新規設置 7月23日～8月6日に設置作業。8月19日に引き渡し。お披露目コンサート10月24日(土)に開催された。

本体価格 30,000 千円。

2) 中高駐輪場設置工事

これまであった駐輪場には屋根が無く、雨天時は雨ざらしであったのでこの解消に向けて工事を計画。工事期間：2015年7月18日～9月30日。工事費：58,590 千円

(設計監理費含)。設計監理は九州 REED コーポレーション。施工は九州建設。

3) 黒髪乳児保育園増築工事

2016年4月1日から熊本市黒髪乳児保育園を引き受けるに当たって、屋上トイレおよび倉庫（計8.44 m²）を増築した。

工事期間：2015年10月5日～12月5日。工事費：6,800千円。設計監理は九州REEDコーポレーション。施工は九州建設。

4) 台風被害修復工事関係（100万円以上）

ア) 中高プール囲い修復	4,326千円	諫山工業
イ) 菊南グラウンド屋内練習場修復	3,780千円	諫山工業
ウ) エカード会館屋根修復	1,782千円	田中建設
台風関係修復費総額	14,446千円	（火災保険対応）

5) 寒波による水道管凍結による被害（100万円以上）

ア) 菊南グラウンド散水用ポンプ交換	1,890千円	田中建設
寒波による被害修復工事総額	2,473千円	（火災保険対応）

2.9 年間行事

(2015年4月～2016年3月)

	大学	中学・高等学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式、1年次生保護者会 新学期オリエンテーション フレッシュマンキャンプ（新入生歓迎オリエンテーション） 前期開講 	<ul style="list-style-type: none"> 男子寮・女子寮 入寮式 入学式 始業式 中学1年生修養会
5月	<ul style="list-style-type: none"> 新入生歓迎スポーツデー 	<ul style="list-style-type: none"> 体育大会 PTA総会、懇談会、懇親会
6月	<ul style="list-style-type: none"> 大学説明会 平澤大学、仁徳大学日本語・日本文化研修 	<ul style="list-style-type: none"> 高校3年生修養会 前期中間考査
7月	<ul style="list-style-type: none"> 前期補講 兼 定期試験 第1回オープンキャンパス 大学院説明会 コンソーシアム進学ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 高校第1回オープンキャンパス 中学第1回入試説明会 中学サマースクール
8月	<ul style="list-style-type: none"> 教員免許状更新講習 保育士特例制度科目集中講義 第2回オープンキャンパス 障がいのある学生支援講話会 保育コース合宿 異文化体験学習 こども専攻リポート オープンカレッジ（5回シリーズ）～10月まで サマーカーンプ 	<ul style="list-style-type: none"> 私学教育一斉研修 スクールキャラバン
9月	<ul style="list-style-type: none"> 秋季卒業式 大学院入学試験 後期開講 大畑客員教授公開講座 第3回オープンキャンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ミッションクリーン 高校第2回オープンキャンパス 前期期末考査
10月	<ul style="list-style-type: none"> 2年次生保護者会 ペーパーラー こどもフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> 後期始業の辞 学院祭 中学第2回入試説明会
11月	<ul style="list-style-type: none"> 指定校推薦入学試験 授業料全額免除、公募推薦入学試験 ホームカミングデー フイリア祭 第4回オープンキャンパス 	<ul style="list-style-type: none"> 高校第3回オープンキャンパス 後期中間考査 音楽会
12月	<ul style="list-style-type: none"> プレ・カレッジ クリスマス礼拝 クリスマス祝会 	<ul style="list-style-type: none"> 中学2年生研修旅行 高校1年生研修旅行 クリスマス礼拝、キャロリング、早天礼拝 中学入試（専願・奨学前期）
1月	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験 後期補講 兼 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 中学入試（一般前期・奨学後期） 高校入試（専願・奨学、実技「体育・芸術」） 熊本バンド 早天祈祷会
2月	<ul style="list-style-type: none"> 一般Ⅰ期、編入学試験、外国人入学試験 大学入試センター利用入学試験 異文化体験学習 バックアップガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 中学入試（一般後期） 中学入学者登校日 高校入試（一般） 後期期末考査
3月	<ul style="list-style-type: none"> 一般Ⅱ期、長期履修学生入学試験 14年の振り返りの会 卒業式、Farewell Party 兼任講師懇談会 合格者招集日 在学生オリエンテーション 修士論文発表会 	<ul style="list-style-type: none"> 高校卒業式 中学卒業式 高校入学者登校日

(2015年4月～2016年3月)

	こども園	学院全体
4月	<ul style="list-style-type: none">・ 入園式・ 新学期始園式・ 入園感謝親子礼拝・ イースター礼拝・ 保育参観・組別懇談会・ お見知り遠足	<ul style="list-style-type: none">・ 辞令交付式・ 新任職員オリエンテーション・ 学院歓迎会
5月	<ul style="list-style-type: none">・ 母の日礼拝・ 健康診断(内科・歯科・耳鼻科)	<ul style="list-style-type: none">・ 阿蘇山荘 学院・教会合同清掃・ 決算会計監査・ 理事会・評議員会
6月	<ul style="list-style-type: none">・ 保育参観・ 花の日礼拝	
7月	<ul style="list-style-type: none">・ お泊り保育・ 1学期終園式	
8月	<ul style="list-style-type: none">・ 長期休暇預かり保育・ 夏期保育	
9月	<ul style="list-style-type: none">・ 2学期始園式・ 祖父母お祝い会	<ul style="list-style-type: none">・ 理事会・評議員会
10月	<ul style="list-style-type: none">・ 運動会・ 収穫感謝礼拝・ バザー(保護者主催)	<ul style="list-style-type: none">・ 創立記念日 学院研修会
11月	<ul style="list-style-type: none">・ 平成28年度入園児願書受付・ 芋ほり遠足	<ul style="list-style-type: none">・ ホームcomingデー・ クリスマスイルミネーション点灯式
12月	<ul style="list-style-type: none">・ 2学期終園式・ 未就園児クリスマス会・ クリスマス礼拝・ 年長組家族礼拝	<ul style="list-style-type: none">・ 理事会・評議員会・ 半期決算会計監査・ 教職員クリスマス礼拝
1月	<ul style="list-style-type: none">・ 3学期始園式・ もちつき・ 年中組家族礼拝	<ul style="list-style-type: none">・ 新年礼拝
2月	<ul style="list-style-type: none">・ 保育参観(だご汁)・ 観劇会・ もも・年少組家族礼拝	
3月	<ul style="list-style-type: none">・ 卒園感謝礼拝(室園教会)・ 卒園式・ 終園式	<ul style="list-style-type: none">・ 理事会・評議員会

3. 財務の概要

3.1 決算の概要

本学院の会計は「学校法人会計基準」に基づいている。決算の見方は、事業報告書巻末の解説を参照されたい。

3.1.1 貸借対照表の概要

(単位・千円)

科目		2015年度末	2014年度末	増減
資産の部	固定資産	4,780,368	4,689,398	90,970
	有形固定資産	4,525,775	4,430,022	95,753
	土地	1,466,148	1,466,184	△ 36
	建物	2,232,038	2,204,889	27,149
	その他有形固定資産	827,589	758,950	68,639
	特定資産	246,000	241,000	5,000
	減価償却引当特定	160,000	155,000	5,000
	退職給与引当特定	86,000	86,000	0
	その他の固定資産	8,593	18,375	△ 9,783
	流動資産	536,133	575,294	△ 39,161
	現金預金	425,194	483,322	△ 58,128
	その他流動資産	110,939	91,972	18,967
	資産の部合計		5,316,501	5,264,691
負債の部	固定負債	716,761	739,663	△ 22,902
	長期借入金	443,380	505,134	△ 61,754
	その他固定負債	273,381	234,529	38,852
	流動負債	209,699	202,551	7,148
	短期借入金	61,754	61,754	0
	その他流動負債	147,945	140,797	7,148
負債の部合計		926,460	942,215	△ 15,755
純資産の部	基本金	6,420,374	6,069,837	350,536
	第1号基本金	6,291,374	5,940,837	350,536
	第4号基本金	129,000	129,000	0
	繰越収支差額	△2,030,333	△1,747,361	△282,972
	翌年度繰越収支差額	△2,030,333	△1,747,361	△282,972
純資産の部合計		4,390,041	4,322,476	67,565
負債及び純資産の部合計		5,316,501	5,264,691	51,809

3.1.2 資金収支計算書の概要

(単位・千円)

収入の部	2014年度決算	2015年度予算	2015年度決算	前年比
学生生徒等納付金収入	1,252,127	1,288,478	1,295,170	43,043
手数料収入	30,990	32,110	30,613	△ 377
寄付金収入	38,601	26,464	29,851	△ 8,750
補助金収入	467,270	590,221	590,285	123,015
資産売却収入	2,011	2,419	2,415	404
付随事業・収益事業収入	60,943	61,234	60,382	△ 561
受取利息・配当金収入	377	330	350	△ 27
雑収入	48,065	62,894	67,181	19,116
借入金等収入	60,000	0	0	△ 60,000
前受金収入	92,703	91,520	90,819	△ 1,884
その他の収入	579,877	585,583	623,048	43,171
資金収入調整勘定	△ 173,156	△ 174,403	△ 193,125	△ 19,969
前年度繰越支払資金	516,737	483,322	483,322	△ 33,415
収入の部 合計	2,976,547	3,050,172	3,080,310	103,763
支出の部				
人件費支出	1,230,989	1,326,300	1,322,908	91,919
教育研究経費支出	295,560	334,757	325,553	29,993
管理経費支出	154,423	159,384	152,266	△ 2,157
借入金等利息支出	10,043	8,366	9,253	△ 790
借入金返済支出	57,852	61,754	61,754	3,902
施設関係支出	89,812	179,262	180,711	90,899
設備関係支出	70,385	61,664	61,033	△ 9,352
資産運用支出	25,040	15,035	44,035	18,995
その他の支出	603,381	543,084	539,868	△ 63,513
資金支出調整勘定	△ 44,260	△ 43,308	△ 42,264	1,996
次年度繰越支払資金	483,322	403,876	425,194	△ 58,128
支出の部 合計	2,976,547	3,050,172	3,080,310	103,763

2015年度の資金収支は、次年度繰越支払資金が58百万円目減りした。

変動の大きな要因は以下のものが挙げられる。

【主要な収支改善要因】

- 学生生徒等納付金の増加： こども園の基本保育料31百万円、高校の入学者増等により全体で43百万円の増加となった。

- 補助金の増加： 高校の施設設備加算 4 1 百万円、こども園「施設給付費」 8 3 百万円により 1 2 3 百万円増加した。
- 雑収入の増加： 台風災害に伴う保険料収入が 2 8 百万円増加した。
- 借入金収入の減少： 本年度は借り入れをせず自己資金で対応した。

【主要な収支悪化要因】

- 人件費の増加： 専任登用や身分変更、共済掛け金等の法定福利費増加等により、9 1 百万円の増加。
- 教育研究費支出の増加： 認証評価手数料、修繕費、奨学費等により 3 0 百万円の増加。
- 施設関係支出の増加： 認定こども園Ⅱ期工事、黒髪乳児保育園工事等で 9 1 百万円増加。

3.1.3 事業活動収支計算書の概要

(単位・千円)

	科目	2014 年度決算	2015 年度予算	2015 年度決算	前年比	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,252,127	1,288,478	1,295,170	43,043
		手数料	30,990	32,110	30,613	△ 377
		寄付金	1,630	5,780	5,510	3,880
		経常費等補助金	467,270	590,221	590,285	123,015
		付随事業収入	60,942	61,234	60,382	△ 560
		雑収入	17,317	37,364	42,219	24,902
		教育活動収入計	1,830,276	2,015,186	2,024,178	193,902
	事業活動支出の部	人件費	1,205,062	1,353,080	1,348,824	143,762
		教育研究経費	420,573	466,457	457,229	36,656
		管理経費	167,757	173,574	166,382	△ 1,375
		徴収不能額等	590	575	3	△ 587
		教育活動支出計	1,793,983	1,993,685	1,972,437	178,454
	教育活動収支差額		36,293	21,501	51,740	15,447
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	378	330	350
教育活動外収入計			378	330	350	△ 28
事業活動支出の部		借入金等利息	10,043	8,366	9,253	△ 790
		教育活動外支出計	10,043	8,366	9,253	△ 790
教育活動外収支差額		△9,665	△ 8,036	△ 8,903	762	
経常収支差額		26,628	13,465	42,837	16,209	

特別 収 支	事業活動収入の部	科 目	2014 年度決算	2015 年度予算	2015 年度決算	前年比
		資産売却差額	621	427	387	△ 234
	その他の特別収入	37,110	20,684	24,340	△ 12,770	
	特別収入計	37,731	21,111	24,727	△ 13,004	
	事業活動支出の部	資産処分差額	2,042	0	0	△ 2,042
		その他の特別支出	0	0	0	0
		特別支出計	2,042	0	0	△ 2,042
	特別収支差額	35,689	21,111	24,727	△ 10,962	
	基本金組入前当年度収支差額	62,318	34,576	67,565	△ 5247	
	基本金組入額合計	△135,781	△ 306,520	△ 350,536	△ 214,755	
	当年度収支差額	△73,463	△ 271,944	△ 282,972	△ 209,509	

2015年度の事業活動収支は、教育活動収支差額が51百万円、教育活動外収支差額が△9百万円、特別収支差額が24百万円となり、基本金組み入れ前当年度収支差額は67百万円となった。

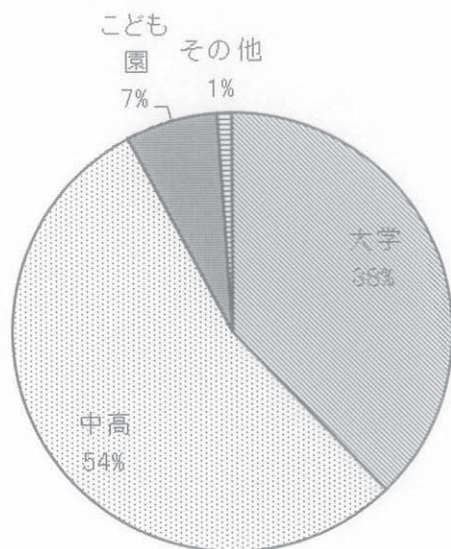
基本金組入前当年度収支差額と減価償却額の内容は下表のとおり。

	2014 年度決算	2015 年度予算	2015 年度決算	前年比
基本金組入前 当年度収支差額	62,318	34,576	67,565	5,247
大学	△4,780	△ 17,769	△ 17,786	△ 13,006
高校	58,280	66,026	83,878	25,598
中学校	27,887	7,884	13,740	△ 14,147
こども園	△3,486	5,074	12,638	9,152
法人	△15,584	△26,639	△24,906	△9,322
減価償却額	138,287		145,792	
減価償却累計額	2,185,354		2,298,794	

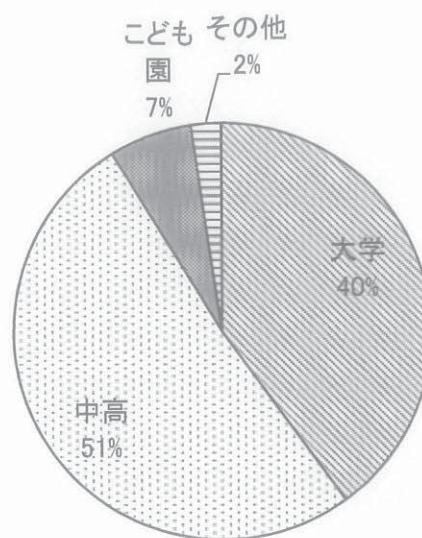
3.1.4 収支の機関別内訳

法人全体の事業活動収支の機関別内訳は、次のグラフのとおりである。

【事業活動収入】



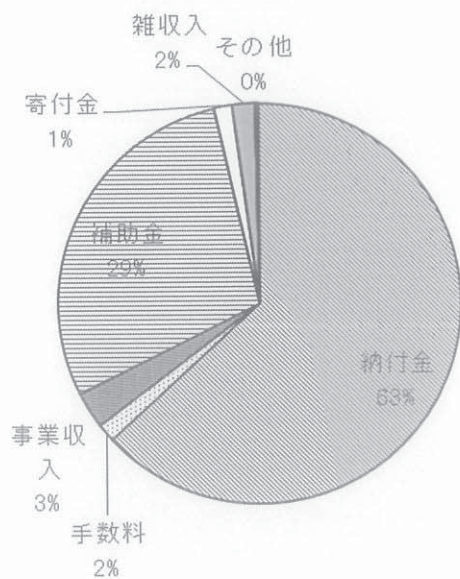
【事業活動支出】



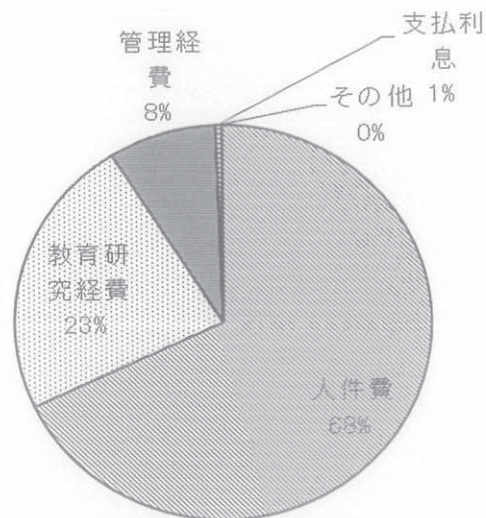
3.1.5 収支の大科目別内訳

法人全体の事業活動収支の大科目別内訳は、次のグラフのとおりである。

【事業活動収入】



【事業活動支出】

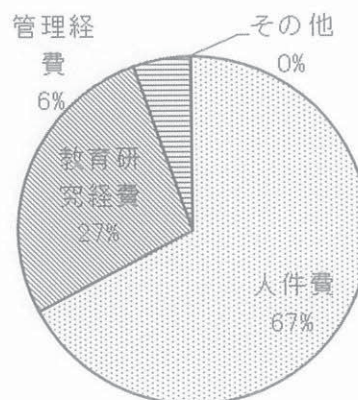
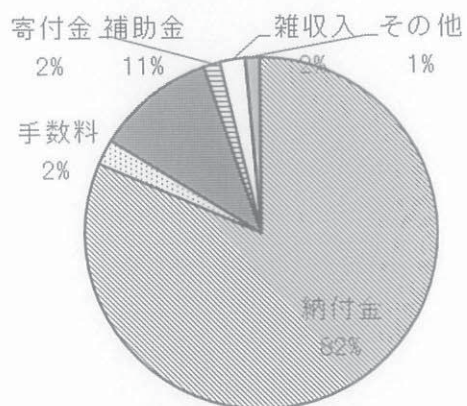


3.1.6 機関別収支の内訳

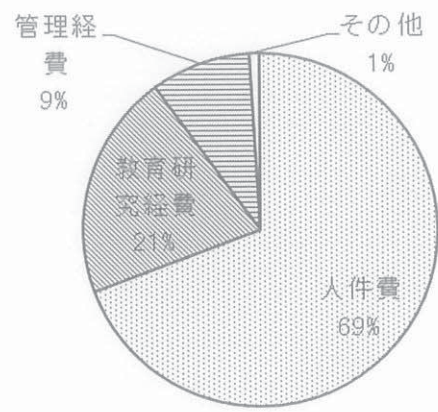
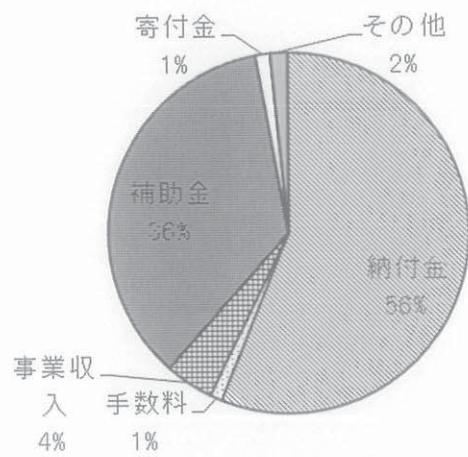
各機関の事業活動収支の大科目別内訳は、次のグラフのとおりである。

なおグラフにおいて、こども園の収入の内訳について注意が必要である。納付金（基本保育料＋給食費）は保護者が負担する保育料であるが、負担を軽減するために不足分を在園児居住の各市が補助金（施設型給付費）として補助を行っている。

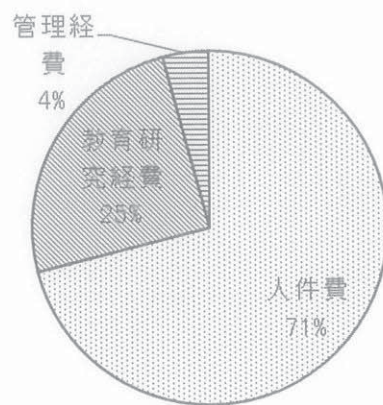
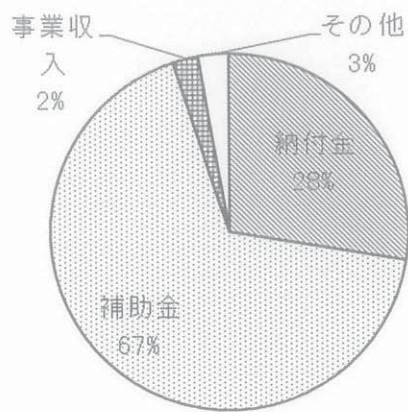
【大学の事業活動収支の構成】



【中学・高校の事業活動収支の構成】



【こども園の事業活動収支の構成】



主な財務比率

*本年度から学校法人会計基準が大幅に改正されたため 2015 年度は単年度財務比率とした。

1. 【貸借対照表関係比率】

※△高いほど良い ▼低いほど良い

観 点	比 率 名	算 式	2015 年度	良 い	留 意 点 ・ 本 学 院 の 傾 向 等
自己資金は充実しているか	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	82.6%	△	年々改善してきたが、今後も継続して取り組む。
	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債} + \text{純資産}}$	△38.2%	△	悪化傾向にあり今後改善策が必要。
固定資産は長期資金でまかなわれているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	108.9%	▼	長期的資金の安全性指標 100%以下が望ましい。分母の純資産がまだ小さい。
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	93.6%	▼	安全性指標 100%以下が健全。
資産構成はどうか	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	89.9%	▼	総資産に対する固定資産の割合。
	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	85.1%	▼	総資産に対する有形固定資産の割合。
負債に備える資産が蓄積されているか	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	4.6%	△	各種引当特定資産等の長期的資産の蓄積状態を表す。
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	10.1%	△	短期的な支払能力指標。
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	255.7%	△	短期的な支払能力指標。短期負債に対する返済能力は問題なし。
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受け金}}$	468.2%	△	年度による変化が大きい。手元資金は十分である。

	退職給与引当特定資産 保有率	退職給与引当特定資産 退職給与引当金	32.8%	△	将来への準備資金。
負債の割合はどうか	固定負債構成比率	固定負債 負債＋純資産	13.5%	▼	確実に返済しつつも、長期にわたって償還すべき負債が多い。
	流動負債構成比率	流動負債 負債＋純資産	3.9%	▼	流動負債は低く、問題なし。
	総負債比率	総負債 負債＋純資産	7.4%	▼	年々改善してきている。
	負債比率	総負債 純資産	21.1%	▼	他人資金は自己資金を上回っていない。

2.【収支計算書関係比率】

観点	比率名	算式	2015年度	良い	留意点・本学院の傾向等
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	3.3%	△	比較的良好い水準を維持してきたが大学と幼稚園が急落。
	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	2.1%	△	経営の健全性指標。高いほど施設設備への投資が可能。
	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	2.6%	△	学校本来の教育活動の収支バランス。
	減価償却額比率	減価償却額 経常支出	6.6%	△	経常支出に占める減価償却額の割合。

収入の構成はどうか	学生生徒等納付金比率	学生生徒納付金 —— 経常収入	64.0%	△	安定した学生生徒の確保が今後必要。
	寄付金比率	—— 寄付金 —— 事業活動収入	1.5%	△	90周年募金額は目標を超え、比率はわずかに上昇。
支出の構成は適切であるか	補助金比率	—— 補助金 —— 事業活動収入	28.8%	△	県・市（施設型給付費）からの補助金が増加。
	人件費率	—— 人件費 —— 経常収入	66.6%	▼	専任への身分変更、業務引継に伴う人員増、及び共済掛金等の福利費増加。
	人件費依存率	—— 人件費 —— 学生生徒等納付金	104.1%	▼	人件費が学生生徒納付金を上回っている。
	教育研究経費率	—— 教育研究経費 —— 経常収入	22.6%	△	教育研究活動の維持・発展を支える。硬直化しやすい。
	管理経費比率	—— 管理経費 —— 経常収入	8.2%	▼	妥当な水準。

3.2 その他

3.2.1 有価証券の状況

区分	銘柄	帳簿価額	表示科目
株式	キリスト新聞社	5万円	有価証券

3.2.2 借入金の状況

借入先	借入残高	利率	担保等
公的金融機関	4,165万円	1.8%	あり
市中銀行・信用金庫	4億6,348万円	0.61~2.4%	あり

3.2.3 学校債の状況

学校債は、発行しておりません。

3.2.4 その他

3.2.4.1 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
新入生寄付金	保護者	191万円	減価償却引当預金へ
一般寄付金	保護者	106万円	卒業(園)記念寄付金
	保護者、団体	30万円	行事等教育活動支援
	保護者、企業、教職員	1,901万円	90周年記念事業寄付金
	教職員、大学自治会	520万円	大学施設設備寄付
	保護者、団体	13万円	パイプオルガン維持寄付金
	高校同窓会	20万円	海外研修支援金
	企業	203万円	教育活動支援等

全体で2,985万円の寄付金をいただいた。その内訳は上の表のとおりである。これとは別に、企業からの受配者指定寄付金を18件、396万円頂いたが、現在、私学事業団に預託している。この寄付金は、事業計画に基づいて受配手続きを取る予定である。

新入生寄付金は、それぞれの部門の新入生保護者に寄付をお願いし、多くのご協力を頂くことができた。寄付者の皆様には、心から感謝申し上げます。

3.2.4.2 収益事業の状況

収益事業は、行っておりません。

3.2.4.3 関連当事者との取引

関連当事者との取引はありませんでした。

財務の概要・付録 学校法人会計について

2015(平成27)年度から、学校法人会計基準が大幅に改正されました。

改正の趣旨は、情報の公開と説明責任の観点から、より一般に解りやすく、また学校法人の適切な経営判断に資するために行われたものです。

本学院の会計も、2015(平成27)年度からこの「新学校法人会計基準」に基づき、以下の計算書類を作成しております。これらについて、本学院の仕訳方法を踏まえてご説明致します。

資金収支計算書 とは・・・

毎会計年度、当該会計年度の、学院の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びに、当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。資金収支計算書は、単純に4月から翌年3月までの資金の収支をまとめるものではありません。学校の活動は学年ごとに繰り返されるので、資金の収支も年度ごとに把握できるように、調整勘定を設けて調整します。

今回の改正でも、この計算書類は残りましたが、科目の名称あるいは集計先が変更となった科目があります。

主な科目の内容は、以下の通りです。

- 【学生生徒納付金収入】 授業料収入、入学金収入、施設費収入等の納付金
- 【手数料収入】 入学検定料収入、中高の進路模試の試験料、大学の各種検定試験料、在学・卒業等の証明手数料等
- 【寄付金収入】 90周年記念事業寄付金を始めとする、寄付者が用途を指定した特別寄付金と、指定のない一般寄付金。
- 【補助金収入】 経常費、施設整備等のすべての補助金。認定こども園の施設型給付費も含まれます。
- 【資産運用収入】 受取利息収入と、学内施設や阿蘇山荘利用等の施設設備利用料収入。
- 【付随事業・収益事業収入】 中高の寮活動並びにこども園のスクールバス利用等を計上する補助活動収入や、大学で行う公開講座や更新講習等の収入、韓国提携大学の学生を受け入れる受託事業収入、ジャニスのカウンセリング料収入等。学院ではすべて教育に付随する「付随事業」として扱います。
- 【受取利息・配当金収入】 特定資産の運用収入や預金利息、配当金等。後述の区分経理の為、独立した科目。
- 【雑収入】 退職金団体交付金収入や、大学のボランティア体験の体験学習収入、大学科研費の間接経費収入等。
- 【前受金収入】 前年度の3月までに受け入れた収入で、当年度になって入学金や施設充実費に振替えられる、資金収支計算書特有の科目です。
- 【その他の収入】 預り金受入収入や仮払金回収収入など、短期的に精算される収入で、雑収入と違い、消費収支計算書に影響しません。

【資金収入調整勘定】収入として計上したが未収となっている期末未収入金や、前受金として前年度までに受け入れた収入を、当年度に本来の科目に計上した前期末前受金等を調整する科目で、マイナス表示します。

【教育研究経費支出及び管理経費支出】

経費支出は、教育活動及び研究に用いるものを「教育研究経費」、それ以外を「管理経費」に分けています。

【施設関係支出】

土地支出、建物支出、構築物支出、建設仮勘定支出、施設利用権。

【設備関係支出】

教育研究用機器備品や管理用機器備品、図書、車両等。

【資産運用支出】

特定資産への繰入支出や有価証券購入支出等。

【その他の支出】

資産に計上する支出で、前払金支払支出や仮払金支払支出、また、負債の支払いとして前期末未払金支払支出や預り金支払支出等。

【資金支出調整勘定】支出として計上したが未払いとなる期末未払金や、前年度までに支払っている経費を当年度に本来の科目に計上した前期末前払金等を調整する為の科目で、マイナス表示されます。

活動区分資金収支計算書 とは・・・（新たに付表として追加）

「資金収支計算書」を『教育活動』『施設設備等活動』『その他の活動』の3つに区分して組み替え、現預金の流れを表した計算書類です。企業会計で言うキャッシュフロー計算書に相当し、これにより、活動ごとの資金の流れが分かるようになります。学校法人全体を対象に作成し、部門ごとの明細は作りません。

この計算書は、文科省管轄法人にだけ作成が義務づけられています。

事業活動収支計算書 とは・・・（従来の「消費収支計算書」）

当該会計年度の学院の諸活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにするものです。企業会計の損益計算書に相当しますが、学校法人は営利を目的とせず、教育事業を行うことが目的なので、「事業活動収支計算書」と呼びます。

この計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び「特別収支」に区分されています。

- 教育活動収支は、学校法人の本来の活動にかかる経常的な収支です。
- 教育活動外収支は、資金調達や資金運用など、財務活動の収支です。
- 特別収支は、施設設備のための寄付金や補助金など臨時的な収支です。

また、基本金組入前の収支状況（「基本金組入前当年度収支差額」）を表示することによって、短期・長期の両方の収支バランスが見た目で分かるようになりました。

科目の多くは「資金収支計算書」と同じですが、「事業活動収支計算書」だけにみられる主な科目は以下の通りです。

【現物寄付】 資金の受入れがないので、事業活動収支上にしか反映されません。

【退職給与引当金繰入額】 実際の退職金支払いに先立って、予め毎年度に負担額を事業活

動支出として計上することが、事業活動収支の均衡を維持するうえで必要とされるものです。

大学の場合、期末要支給額を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と、交付金の累計額との組入調整額を加減した金額を全額計上します。

大学以外の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額から、各退職金団体からの交付金相当額を控除した金額（学校負担額）を全額計上します。

【減価償却額】 固定資産のうち建物・構築物・機器備品などは、時の経過により価値が減少するものとして減価償却を行い、取得原価を毎年度の事業活動支出に費用配分しています。学校法人会計基準では、すべて定額償却です。

【資産処分差額】 不動産などを売却し、その代価が帳簿残高を下回った場合、その差額を計上。また建物・構築物などの取壊しや、使用不能になった機器備品を除却処分した場合、処分時点の帳簿残高を計上します。

【過年度修正収入・支出】 前年度以前に計上した収入または支出の修正額で、当年度の収入あるいは支出となるものを計上します。

【基本金組入額】 事業活動収入から組入れた金額で、下表のように第1号基本金から第4号基本金までがあります。このうち、第2号から第4号基本金は、理事会で組入れの議決をした金額ですが、第1号基本金は当該年度における施設・設備の取得額から除脚額を引いた金額が計上されます。学校法人会計においては、基本金組入れ後の収入（事業活動収入）と事業活動支出とが均衡することが望ましいとされています。

第1号基本金	施設（土地、建物等）・設備（機器備品、図書等）の取得額、及びその取得のために借り入れた資金の返済額を組入額として計上
第2号基本金	計画に基づき先行組み入れた金銭等の額
第3号基本金	周年記念奨学基金等として継続的に保持・運用するために組み入れた金銭等の額
第4号基本金	必要な運転資金を常時保持するため、恒常的に保持すべき資金として基本金に組み入れる額

※基本金と資本金：「基本金」とは、企業会計の資本金とは異なり、学校法人会計独自の計算構造で、学校法人がその諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために、事業活動収入から組み入れた金額です。

貸借対照表 とは・・・

会計年度末における学校法人の財政状態（ストック）を表したものです。教育研究に必要な財産を適正かつ安全に保持しているかどうかの財政状態を確認します。

【固定資産】 耐用年数が2年以上の有形固定資産（土地・施設・設備・図書等）と、保有期間が1年を超えると見込まれる有価証券、債権などの資産のこ

と。後者のうち特別な目的に引き当てられた資産を、特定資産と言います。

【流動資産】

現金預金・未収入金・前払金・仮払金等。

【固定負債】

長期借入金・退職給与引当金等。「退職給与引当金」は、教職員に将来退職金として支払うべき退職金を、負債として認識するもの。中高・幼稚園と大学とでは引当金の計算方法が違っている為、それぞれに計算して計上しています。

【流動負債】

短期借入金・未払金・前受金・預り金・仮受金等。

【純資産】

基本金と繰越収支差額。保有する資産のうち、この部分が自己資本となるので、純資産と言います。

